

事業計画書

■ 団体概要

1 団体名			
2 代表者名	役職名	氏名	□はチェックボックスです 該当するものを■としてください。
3 連絡責任者名	役職名	氏名	
	E-mail		
4 法人格の有無 (いずれかにチェック)	<input type="checkbox"/> あり ⇒ 設立時期 年 月 ※西暦記入 <input type="checkbox"/> 設立予定 ⇒ 設立予定時期 年 月 <input type="checkbox"/> なし ⇒ 活動開始時期 年 月		
5 法人格の種類 (いずれかにチェック)	※あり又は設立予定の場合 <input type="checkbox"/> NPO 法人 <input type="checkbox"/> 株式会社 <input type="checkbox"/> 認定 NPO 法人 <input type="checkbox"/> 合同会社 <input type="checkbox"/> 一般社団法人 <input type="checkbox"/> その他 ⇒ 具体的に：		
6 スタッフ数	名	常勤/非常勤、有給/無給を問いません。 (ボランティアは含めません)	
7 団体の設立目的と 活動内容			
8 コンソーシアムの有無	<input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り ⇒ 以下を記入 <input type="checkbox"/> 設立予定 ⇒ 以下を記入 コンソーシアム名称：事団体： 構成団体： 設立(予定)年月日： ※コンソーシアムを組む場合には、上記1～7について幹事団体・構成団体の情報を別紙にてご記載ください(様式任意)		
9 オンライン面談対応可能日程 (当てはまるものにチェック)	※申請内容に関する面談に対応可能な日にチェックをつけ、時間帯をご記載ください <input type="checkbox"/> 11月9日(火) : ~ : <input type="checkbox"/> 11月10日(水) : ~ :		
10 他の休眠預金等活用事業の実施状況	他の休眠預金等活用事業に申請中または実施中である場合、下記をご記載ください。 申請先： 事業名： 本事業申請時点での状況： <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 実施中		

※ 本事業の本申込みにおける個人情報、本事業の実施に必要な範囲においてのみ活用いたします。

■本助成事業への申請概要

事業名	
事業概要 (300字程度)	課題と事業内容を中心にコンパクトにまとめてください
事業実施地域	都道府県・市区町村名を記入してください
事業実施期間	年 月 ～ 年 月 ※西暦表記
総事業費及び 助成申請額	総事業費 うち助成申請額 総事業費：自己資金等も含めた全体の事業費 助成申請額：資金計画書で記入した額
事業の種別 (当てはまるものにチェック)	<input type="checkbox"/> 被災者支援 <input type="checkbox"/> 事 ※ 両方の場合は二つにチェック

■事業計画詳細

1 地域の被害状況と解決すべき課題

【被災時の状況及び現状】

【解決すべき課題】

【原因分析・解決の方向性】

本項目では、申請事業において、課題を明確に捉え、原因が分析できているかをご説明ください。

例)

対象地域における被害の定量的な状況

被災者数／世帯数、事業者数、被災農地面積、被害推定額 など

この被害状況において、本事業において解決すべき課題

課題の発生原因は何か

何にフォーカスすべきと考えるか

2 事業内容

【対象者】

【具体的な取り組み内容等】

本項目では、1 で設定した課題に対する具体的な取組内容についてご記入ください。
事業内容が課題解決に向けて効果のあるものだということをご説明ください。

なお、一概に規模が大きければよいというものではありません。課題を解決する手段として妥当かどうかという観点でご記入ください。

例)

事業の対象者（属性、人数等）
課題解決に向けた取組内容、具体的な手法 など
その他付加的な要素（災害復興のモデルづくりや、他の
社会課題解決への展開など）がある場合は、この欄にご記入
ください

3 成果目標（アウトカム・アウトプット）

【アウトカム】本事業の目的。本事業期間を超えて、団体として目指す状態

【アウトプット】本事業期間中に実施する目標（定性、定量）

【社会的インパクトの評価方法、実施時期など】

1 で記入した課題や 2 で記入した取組に対応させる形で、この事業の目的(アウトカム)と目標(アウトプット)を記入してください。

アウトカムとは、本事業期間を超えて、団体として目指す「あるべき姿」です。

アウトプットとは、本事業期間中に実施したい「目標」です。

例)

アウトカム(定性的にご記入ください)

例 1)被災者が地域とのつながりを感じながら生活できている

例 2)被災事業者が事業を継続できる状態になっている

アウトプット(定性面、定量面の双方をご記入ください)

例 1)の場合

1 被災者支援サロンを継続的に運営する

2 被災者〇世帯に対し、交流の機会を隔週に 1 回提供する

例 2)の場合

1 被災事業者の支援スキームを確立する

2 被災事業者〇社に対し、販路開拓支援を行う

これらの成果目標を「いつ」「どのように」測るかについてもご記入ください。

例)

対象者に対して、事業の開始・中間・終了時点で、アンケート調査等により現状及び効果を確認する

4 スケジュール

(別紙添付でも可)

2 の取組内容や 3 の成果目標に対応させる形で、スケジュールを記入してください

次の記入例を参考にしてください(別紙にさせていただいても構いません)

(検討の視点)

スピード感と実現可能性のバランス感のあるスケジュールとなっているか

5 事業実施体制及びガバナンス・コンプライアンス体制

【事業実施体制】

【ガバナンス・コンプライアンス体制】

【進捗管理・リスク管理】

この事業を推進する体制（業務分担、担当者など）を記入してください
ガバナンス・コンプライアンスの確保に向けた取組についても、ご記入ください

（検討の視点）

事業実施に十分な組織や人員配置となっているか
団体運営の透明性の確保、情報公開、説明責任などの運営方針
はどうか
本事業の推進のためにどのように進捗管理、リスク管理を行う
か

6 連携と対話の状況

【事業連携先と連携内容】

【広報戦略】

事業実施にあたって連携先となる関係者（予定も含む）と、連携や対話の状況
をご記入ください。

例)

被災者：〇世帯に対しXX といった支援を開始済み
地域の行政：XX 市のXX 部署とXX について合意済み
社会福祉協議会：今後協議予定 など

事業の情報発信のために、どのように広報していくかご記入ください

例)

ウェブサイトやSNS の活用
メディアへのアプローチ など

7 事業終了後の展開

1で記載した「中長期的に目指す姿」の実現のために、本事業の終了後に、どのような事業をどのように継続する予定かをご記入ください。

例)

- ・本事業のうち〇〇〇を行政施策/自主事業として自走化させる

8 本事業に関連する主な実績

本事業を実施する上で、過去の類似事業の実績などがあればご記入ください。
また、助成を受けて実施した事業の経験があれば、実施時期、助成元、内容、金額を記入してください

- ※ 枠が狭い場合、広げて記入して構いません。ただし、様式1全体で6ページに収めてください。
- ※ 事業詳細について、説明を補足するスライド資料等を添付していただいても結構です。